

令和3年度「学士課程教育 卒業時アンケート」集計結果 アンケート回答率（年次と学部）

学科名称	回答者	対象者	回答率
FE	13	14	92.9%
BI	40	47	85.1%
ME	11	17	64.7%
IE	24	25	96%
BA	111	120	92.5%
HC	22	25	88%
HE	30	33	90.9%
無効	0	0	-
合計	251	281	89.3%

令和3年度「学士課程教育 卒業時アンケート」 集計結果の考察

- ・卒研、ゼミナールの満足度は高い一方で、基本教育科目、専門教育科目の満足度が低い。授業評価アンケート等を活用して原因を探り改善していく必要がある。
- ・コロナ禍においても、学生同士の議論やプレゼンの機会が維持されていたこと、卒研・ゼミナールの充実度が高かったと評価された。
- ・知識を身につけたという実感は多くの学生がもっている。次は実際に身につけた知識を活用するような授業や課外活動等の機会が必要。
- ・3ポリシーの認知度が前年度と比較して向上していないので、理解してもらうための仕掛けが必要。
- ・各種課外講座の周知方法等について高い評価が得られていない。周知方法の改善や学生のニーズに応じた講座の刷新等が必要。

設問 2

本学の教育方針は、知っていましたか。(学部) (n=251)

[設問2-1] 本学のアドミッションポリシーを読んだことがありましたか

はい	109	43.4%
いいえ	136	54.2%
無回答	6	2.4%

[設問2-2] 所属学科のディプロマポリシーを知っていましたか

知っていた	82	32.7%
知らなかった	166	66.1%
無回答	3	1.2%

[設問2-3] 所属学科のカリキュラムポリシーを知っていましたか

知っていた	123	49.0%
知らなかった	125	49.8%
無回答	3	1.2%

設問 3

大学入学後、次の項目の知識や能力は、どの程度、身に付き
ましたか。(学部) (n=251)

カウント	Q3 基本教	Q3 専門教	Q3 学部学	Q3 授業学	Q3 学分析	Q3 学説明	Q3 諸課題	Q3 一員	Q3 発見	Q3 学活用	Q3 学取組	Q3 教職員
そう 思う 4	130	150	115	155	71	80	81	125	93	101	103	162
やや 思う 3	115	95	124	80	116	136	127	112	144	124	112	76
あまり 思わ ない 2	6	6	12	14	23	34	39	14	14	26	32	11
全く 思わ ない 1	0	0	0	2	1	1	4	0	0	0	4	2
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大学DP	中長期ビジョンI	卒業時アンケート Q3	対応(中長期ビジョン)	そう思う 4	やや思う 3	あまり 思わない 2	全く 思わない 1
1.幅広い教養と専門的知識	1-1.幅広い教養と専攻する学問分野の基本的な知識を体系的に理解し、課題と関係づけられるように教育活動を展開する	A1.基本教育科目の学びから幅広い教養を身に付けることができた	幅広い教養	51.8%	45.8%	2.4%	0.0%
		A2.専門教育科目の学びから専攻する学問分野の基本的な知識を得ることができた	専攻する学問分野	59.8%	37.8%	2.4%	0.0%
		A3.学部学科の学びを、体系的に理解することができた	体系的に理解	45.8%	49.4%	4.8%	0.0%
		A4.授業での学びを、演習・ゼミナール・卒業研究に活用できた	課題と関連づけられる	61.8%	31.9%	5.6%	0.8%
2.情報収集力と情報発信力および専門的能力	1-2.学修した知識や収集した情報をもとに課題を論理的に分析し、他者に説明する能力を身につけられるように教育研究活動を展開する	B1.学んだ考え方や収集した情報をもとに課題を論理的に分析することができた	論理的に分析	33.6%	55.0%	10.9%	0.5%
		B2.学んだ考え方や収集した情報を他者に説明することができた	他者に説明する能力	31.9%	54.2%	13.5%	0.4%
3.主体的な行動力と社会諸課題解決への姿勢	1-3.社会の諸課題に主体的に取り組む姿勢を身につけられるよう、実社会を想定した実践的な学習を通して社会の一員としての自覚を促す	C1.社会の諸課題解決に向けて主体的に取り組むことができた	主体的に取り組む姿勢	32.3%	50.6%	15.5%	1.6%
		C2.社会の一員として求められる態度、意識が身についた		49.8%	44.6%	5.6%	0.0%
		C3.発見・設定した問題について解決へ導くことができた		37.1%	57.4%	5.6%	0.0%
4.創造的思考力と研究遂行能力	1-4.学修した知識・技能を実社会の中で活用し、課題を解決する経験を通して、課題解決の方法を創造できるように教育研究活動を展開する	D1.学んだ知識や考え方を活用して、課題を発見・設定し、解決へ導くことができた	課題解決の方法を創造	40.2%	49.4%	10.4%	0.0%
		D2.学んだ知識・技術をもって実社会や各種活動の諸課題に取組んだ	学修した知識・技能を実社会の中で活用	41.0%	44.6%	12.7%	1.6%
		E1.教職員や友人等と意欲的に関わることができた		64.5%	30.3%	4.4%	0.8%

設問4

あなたの学習行動を教えてください。(学部) (n=251)

カウント	Q3 シラバス	Q3 各科目	Q3 履修	Q3 基本	Q3 卒業	Q3 Co	Q3 学生	Q3 図書	Q3 学習	Q3 授業
あて はまる 4	127	134	119	145	169	170	114	92	129	98
やや あて はまる 3	98	99	116	96	69	67	96	94	96	106
あまり ない 2	20	17	14	9	11	12	35	59	24	38
まったく ない 1	6	1	1	0	0	1	6	6	2	9
無回答	0	0	1	1	2	1	0	0	0	0